

## 『moja』



自分が他の人より毛深いのも、それを剃っていつも手脚が傷だらけなのも、絶対に周りに知られたくない。小学生の時、「もじゃ」とあだ名をつけられた中二の少女の理沙が、悩みながらも少しずつ前向きな気持ちに変わっていく夏の物語です。

吉田 桃子/著 講談社

## 『猫を抱いて象と泳ぐ』



十一歳で成長を止めた無口な少年は、チェスの才能を開花させる。チェス台の下に閉じこもり、からくり人形を操って、チェスの宇宙を自由に旅する無垢な魂。静けさに満ちた世界に心が洗われます。

小川 洋子/著 文春文庫

## 『誰かのための物語』



事故で両親と記憶の一部を失った高校生の立樹。前向きになれない日々の中、転校生の華乃に頼まれ一緒に絵本を作ることになる。そこには深い意味が隠されていた。自分の人生を考える時に、大切な事に気づかせてくれる一冊です。

涼木 玄樹/著 スターツ出版文庫

# 高井戸 YA 新聞 2019 年秋号(30 号)

## 「生きる才能」 ～憂鬱と向き合うための本～

### 『マンガがあるじゃないか』

わたしをつくったこの一冊



マンガを侮<sup>あなど</sup>ってはいけません。日々の支え、励まし、ストレス発散にもなり、学ぶ事もたくさんあります。嫌な事を忘れてマンガに没頭<sup>ぼっとう</sup>するのもたまにはいいものです。さて、あなたは何を读みますか？

蒼井 ブルー 他/著 河出書房新社/編  
河出書房新社

### 『「空気」を読んでも従わない』

生き苦しさからラクになる



「周りの目が気になり本音を言えない」、「頼まれると嫌でも断れない」、「LINE やメールの返事を気にしすぎる」…。そんな悩みを抱える 10 代に向けて、著者は丁寧かつ優しく解決法を提案しています。「世間」、「社会」、「空気」というキーワードで見方を変えてみると、気持ちが少し楽になるかもしれません。

鴻上 尚史/著 岩波書店